

N34a カシオペア座新変光星 VarCas06 の CCD 連続測光観測

田辺健茲、東地紗智子 (岡山理科大)

カシオペア座新変光星 (変光現象) VarCas06 は、彗星の発見で知られる岡山県津山市在住の観測家・多胡昭彦氏によって 2006 年 10 月下旬に検出され、10 月 31 日に報告された。我々はその直後からこの天体の観測の CCD 連続測光観測を行ったので、その結果を報告する。

観測は 11 月 1,2,4 の 3 日間岡山理科大学 21 号館の田辺研究室天文台 23.5cm 望遠鏡、ならびに岡山市芳賀の Tanabe Observatory 28cm 望遠鏡で行った。用いた CCD はいずれも ST-7XE、フィルターは none (clear) である。この 3 日間の観測で得られた総フレーム数は 3660 枚、観測時間は約 10 時間である。得られた画像は AIP4Win を用いて Aperture Photometry を行い、それにより光度曲線を作成した。その結果得られた光度曲線は、ほぼ緩やかな減光を示しているが、部分的に小さな 0.05 等程度の増光が認められた。

この星はもともと GSC3656.1328 という番号があり、11.8 等の A 型星として登録され、変光の記録はない。本講演では測光観測の結果とともに、この増光現象がマイクロレンズ効果であると仮定して、光度曲線とモデル曲線との fitting についても言及する予定である。